



2025年12月期 第1四半期決算短信〔IFRS〕(連結)

2025年5月15日

上場会社名 Appier Group株式会社

上場取引所

東

コード番号 4180

URL <https://www.appier.com/>

代表者(役職名) 代表取締役CEO

(氏名) 游 直翰

問合せ先責任者(役職名) Senior Vice President of Finance (氏名) 橘 浩二 (TEL) 03(6435)6617

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・証券アナリスト 向け)

(百万円未満四捨五入)

1. 2025年12月期第1四半期の連結業績(2025年1月1日～2025年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		EBITDA※		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に 帰属する 四半期利益		四半期包括利益 合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年12月期 第1四半期	9,352	26.8	948	28.8	73	12.3	62	△22.5	35	△38.6	35	△38.6	△1,561	—
2024年12月期 第1四半期	7,374	32.8	736	90.7	65	—	80	—	57	—	57	—	2,046	—

※EBITDA＝営業利益＋減価償却費及び無形資産償却費＋営業費用に含まれる税金費用

	基本的1株当たり 四半期利益		希薄化後1株当たり 四半期利益	
	円	銭	円	銭
2025年12月期第1四半期	0.34		0.34	
2024年12月期第1四半期	0.56		0.56	

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2025年12月期第1四半期	47,353	32,618	32,618	68.9
2024年12月期	44,637	34,315	34,315	76.9

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第 1 四半期末	第 2 四半期末	第 3 四半期末	期末	合計
2024年12月期	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 —	円 銭 2.00	円 銭 2.00
2025年12月期	—				
2025年12月期(予想)		0.00	—	2.25	2.25

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年12月期の連結業績予想(2025年1月1日～2025年12月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上収益		EBITDA※		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	45,467	33.5	7,786	58.4	4,051	104.5	3,801	84.3	3,576	22.2	3,576	22.2	35.00	

※EBITDA＝営業利益＋減価償却費及び無形資産償却費＋営業費用に含まれる税金費用

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 有

新規 3社 (社名) ADYOUNEED SAS, ADCREATIVE AI YAZILIM ANONIM SIRKETI, ADYOUNEED MOROCCO

※ ADCREATIVE AI YAZILIM ANONIM SIRKETI及びADYOUNEED MOROCCOは、ADYOUNEED SAS (AdCreative.ai) の子会社であります。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① I F R Sにより要求される会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年12月期 1 Q	102,362,741株	2024年12月期	102,289,998株
② 期末自己株式数	2025年12月期 1 Q	653,563株	2024年12月期	653,563株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2025年12月期 1 Q	101,658,141株	2024年12月期 1 Q	101,917,883株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提になる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	6
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	8
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	10
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(親会社の所有者に帰属する持分の金額に著しい変動があった場合の注記)	12
(セグメント情報等)	12
(売上収益)	12
(重要な後発事象)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

「ソフトウェアをよりスマートに、AIでROIを向上させる」が当社グループのミッションです。

当第1四半期連結累計期間の売上収益は9,352百万円（前年同期比26.8%増）となりました。これは、アップセル・クロスセルによる既存顧客からの売上収益の拡大、地域及び顧客業種の拡大による新規顧客からの売上収益の拡大によるものであります。また、2025年3月におけるARR（注1）は36,823百万円となり、2024年3月の29,033百万円から26.8%拡大しました。

当第1四半期連結累計期間の売上総利益は4,805百万円（前年同期比26.0%増）となり、売上総利益率は51.4%（前年同期は51.7%）となりました。

事業規模の拡大により、営業費用（販売及びマーケティング費用、研究開発費、一般管理費）の金額は増加していますが、対売上収益比率は前年同期の51.8%から51.3%へと、0.5%ポイント低下しました。販売及びマーケティング費用と研究開発費の対売上収益比率は、生産性改善及び効率性向上により、それぞれ1.0%ポイント及び0.3%ポイント低下しました。一方、一般管理費の対売上収益比率は、主にM&Aに関連する一時的な取引費用の発生により、前年同期比で0.8%ポイント上昇しました。

その結果、EBITDA（注3）は948百万円（前年同期比212百万円増）、営業利益は73百万円（同8百万円増）となりました。また、税引前四半期利益は62百万円（同18百万円減）、親会社の所有者に帰属する四半期利益は35百万円（同22百万円減）となりました。

- (注) 1. Annual Recurring Revenueの略。年間経常収益。利用量ベースの価格体系で提供するソリューションについては、関連する期間における1か月平均のリカーリング売上収益（注2）を12倍し、サブスクリプション方式で提供するソリューションについては、関連する期間の最終月のリカーリング売上収益を12倍することで年換算して得られた金額です。2025年3月のARRは、利用量ベースの価格体系で提供するソリューションについては2024年10月から2025年3月のリカーリング売上収益の1か月平均を12倍し、サブスクリプション方式で提供するソリューションについては2025年3月のリカーリング売上収益を12倍して算出しております。
2. リカーリング顧客(利用量ベースの価格体系で提供するソリューションについては、①当社グループのソリューションを4四半期以上連続で使用している顧客企業及び②直近1年以内の新規顧客企業で当社グループのソリューションを3カ月以上連続で使用している顧客企業を、サブスクリプション方式で提供するソリューションについては、当社グループと1年以上の契約を締結している顧客企業をいいます。)からの売上収益
3. EBITDA＝営業利益＋減価償却費及び無形資産償却費＋営業費用に含まれる税金費用

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び資本の状況

(資産)

当第1四半期連結会計期間末の総資産は47,353百万円であり、前連結会計年度末に比べて2,716百万円増加しました。

流動資産は前連結会計年度末に比べて2,485百万円減少しており、主な減少要因は定期預金の払戻しによる減少（前連結会計年度末比3,902百万円減）であり、主な増加要因は事業成長に伴う営業債権の増加（同1,231百万円増）であります。

非流動資産は前連結会計年度末に比べて5,201百万円増加しており、主な増加要因はM&Aに伴うのれんの計上によるのれん及び無形資産の増加（同5,489百万円増）であります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は14,735百万円であり、前連結会計年度末に比べて4,413百万円増加しました。流動負債は2,215百万円、非流動負債は2,198百万円、それぞれ増加しました。

主な増加要因は、M&Aに伴う条件付取得対価に係る債務の計上によるその他の債務の増加（流動負債が1,622百万円増、非流動負債が864百万円増）及び、金融機関からの借入による借入金の増加（流動負債が614百万円増、非流動負債が1,437百万円増）であります。

(資本)

当第1四半期連結会計期間末の資本合計は32,618百万円であり、前連結会計年度末に比べて1,697百万円減少しました。主な減少要因は為替変動によるその他の資本の構成要素の減少（前連結会計年度末比1,596百万円減）であります。

②キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、4,990百万円（前連結会計年度末比506百万円減）となりました。

当第1四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果使用した資金は1,164百万円となり、前年同期比で支出が964百万円増加しました。主な支出の増加要因は運転資本の増加（前年同期比1,346百万円増）であり、主な収入の増加要因は非資金損益調整後の税引前利益の増加（同284百万円増）であります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は801百万円となり、前年同期比で支出が243百万円増加しました。主な支出の増加要因はM&Aに伴う子会社の取得による支出の増加（前年同期比2,520百万円増）及びその他の金融資産の取得による支出の増加（同779百万円増）であり、主な収入の増加要因は定期預金の払戻による収入の増加（同3,217百万円増）であります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果得られた資金は1,617百万円となり、前年同期比で収入が1,787百万円増加しました。主な収入の増加要因は長期借入による収入の増加（前年同期比1,800百万円増）であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、前回公表した内容から変更はありません。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年3月31日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	5,496	4,990
定期預金	6,727	2,825
営業債権	6,388	7,619
契約資産	2,973	2,966
その他の債権	232	173
その他の流動資産	389	591
その他の金融資産	5,794	6,350
流動資産合計	27,999	25,514
非流動資産		
有形固定資産	201	183
使用権資産	2,197	1,953
のれん及び無形資産	12,528	18,017
繰延税金資産	1,117	1,058
その他の金融資産	430	445
その他の非流動資産	165	183
非流動資産合計	16,638	21,839
資産合計	44,637	47,353

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年3月31日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
借入金	1,500	2,114
契約負債	164	490
営業債務	3,360	3,052
その他の債務	2,736	4,358
未払法人所得税	35	44
リース負債	742	718
その他の流動負債	132	108
流動負債合計	8,669	10,884
非流動負債		
借入金	—	1,437
引当金	67	65
繰延税金負債	49	171
リース負債	1,537	1,314
その他の非流動負債	—	864
非流動負債合計	1,653	3,851
負債合計	10,322	14,735
資本		
資本金	7,628	7,641
資本剰余金	24,069	23,920
自己株式	△1,000	△1,000
利益剰余金	△5,544	△5,509
その他の資本の構成要素	9,162	7,566
親会社の所有者に帰属する持分	34,315	32,618
資本合計	34,315	32,618
負債及び資本合計	44,637	47,353

(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書

要約四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)
売上収益	7,374	9,352
売上原価	△3,562	△4,547
売上総利益	3,812	4,805
販売及びマーケティング費用	△2,328	△2,855
研究開発費	△995	△1,233
一般管理費	△497	△705
その他の収益	76	66
その他の費用	△3	△5
営業利益	65	73
金融収益	120	45
金融費用	△105	△56
税引前四半期利益	80	62
法人所得税費用	△23	△27
四半期利益	57	35
四半期利益の帰属 親会社の所有者	57	35
基本的1株当たり四半期利益(円)	0.56	0.34
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	0.56	0.34

要約四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)
四半期利益	57	35
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることの無い項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で 測定するものとして指定した資本性金 融商品の公正価値の純変動額	△26	△10
純損益に振り替えられることの無い項 目合計	△26	△10
純損益に振り替えられる可能性のある項 目		
在外営業活動体の外貨換算差額	2,015	△1,586
純損益に振り替えられる可能性のある 項目合計	2,015	△1,586
その他の包括利益合計	1,989	△1,596
四半期包括利益	2,046	△1,561
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	2,046	△1,561

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第1四半期連結累計期間(自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)

(単位: 百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分							
	資本金	資本剰余金	自己株式	利益剰余金	その他の資本の構成要素			資本合計
					在外営業活動 体の換算差額	その他の包括 利益を通じて 公正価値で測 定する金融資 産	合計	
2024年1月1日残高	7,555	23,880	△0	△8,471	6,151	△24	6,127	29,091
四半期利益	—	—	—	57	—	—	—	57
その他の包括利益	—	—	—	—	2,015	△26	1,989	1,989
四半期包括利益	—	—	—	57	2,015	△26	1,989	2,046
株式報酬取引	—	49	—	—	—	—	—	49
新株予約権の行使	14	14	—	—	—	—	—	28
所有者との取引額等 合計	14	63	—	—	—	—	—	77
2024年3月31日残高	7,569	23,943	△0	△8,414	8,166	△50	8,116	31,214

当第1四半期連結累計期間(自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)

(単位: 百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分							
	資本金	資本剰余金	自己株式	利益剰余金	その他の資本の構成要素			資本合計
					在外営業活動 体の換算差額	その他の包括 利益を通じて 公正価値で測 定する金融資 産	合計	
2025年1月1日残高	7,628	24,069	△1,000	△5,544	9,306	△144	9,162	34,315
四半期利益	—	—	—	35	—	—	—	35
その他の包括利益	—	—	—	—	△1,586	△10	△1,596	△1,596
四半期包括利益	—	—	—	35	△1,586	△10	△1,596	△1,561
親会社の所有者に対 する配当金	—	△203	—	—	—	—	—	△203
株式報酬取引	—	41	—	—	—	—	—	41
新株予約権の行使	13	13	—	—	—	—	—	26
所有者との取引額等 合計	13	△149	—	—	—	—	—	△136
2025年3月31日残高	7,641	23,920	△1,000	△5,509	7,720	△154	7,566	32,618

(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	80	62
減価償却費及び無形資産償却費	670	876
受取利息	△120	△45
支払利息	19	35
予想信用損失(△は戻入)	10	14
純損益を通じて公正価値で測定する金融資産の 評価損益(△は益)	△70	△64
株式報酬費用	77	67
その他	△5	—
運転資本の増減		
営業債権	104	△1,518
契約資産	△350	△130
その他の債権	63	10
その他の流動資産	△121	△56
その他の非流動資産	—	△19
契約負債	18	△22
営業債務	△157	△165
その他の債務	△386	△271
その他の流動負債	△12	△35
小計	△180	△1,261
利息の受取額	14	130
利息の支払額	△14	△21
法人所得税の支払額	△20	△12
営業活動によるキャッシュ・フロー	△200	△1,164
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△61	△4
無形資産の取得による支出	△958	△1,130
子会社の取得による支出	—	△2,520
その他の金融資産の取得による支出	—	△779
定期預金の払戻による収入	445	3,662
敷金及び保証金の差入による支出	△2	△30
敷金及び保証金の回収による収入	18	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△558	△801
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	600	700
短期借入金の返済による支出	△600	△500
長期借入れによる収入	—	1,800
長期借入金の返済による支出	—	△4
リース負債の返済による支出	△170	△178
株式の発行による収入	0	0
親会社の所有者への配当金の支払額	—	△201
財務活動によるキャッシュ・フロー	△170	1,617
現金及び現金同等物の為替変動による影響	301	△158
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△627	△506
現金及び現金同等物の期首残高	6,134	5,496
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,507	4,990

(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(親会社の所有者に帰属する持分の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社グループは、AISaaS事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(売上収益)

顧客との契約から認識した収益の分解

当社グループは、事業を展開する上で販売状況を地域ごとに管理し、売上収益を管理区分単位である地域別に分解しております。

(第1四半期連結累計期間)

管理ユニット	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)
	百万円	百万円
北東アジア地域	4,801	6,587
米国、EMEA及びその他	1,229	1,618
グレーターチャイナ地域	1,153	1,077
東南アジア地域	191	70
	7,374	9,352

地域は以下のように分類しております。

北東アジア地域：日本及び韓国

米国、EMEA及びその他：米国、EMEA（英国、フランス、ドイツ、イスラエルを含む）及びその他

グレーターチャイナ地域：中国、台湾及び香港

東南アジア地域：その他のアジア太平洋地域（シンガポール、マレーシア、フィリピン、タイ、ベトナム、インド、インドネシア及びオーストラリア）

(重要な後発事象)

該当事項はありません。